

「廃品deキエー口を使って 生ごみ減量」

家庭ごみの燃やせるごみのなんと約半数が生ごみ！市ではここに注目し、生ごみを土に返す容器「キエー口」を活用した取り組みを始めました。

容器は“衣装ケース”!?

大型ごみとして出された衣装ケースに、穴を開けて加工したものが、廃品deキエー口。今年の5月からモニター募集を開始しました。

使い方は、黒土を約40リットル入れ、穴を掘ったところに生ごみを投下、水を約500ミリリットルかけてシャベルで切るように混ぜ、埋めます。

1週間～10日間程度で分解されます。

※気温条件によりますが、おすすめは15℃以上です。

キエー口は本来、木の箱を使用しますが、この廃品deキエー口は廃品を再利用することで、より無駄なく生ごみ減量に取り組みます。



▲ 廃品deキエー口

コンポスト容器・電動生ごみ処理機の助成 随時受け付け中！

コンポスト（堆肥）容器（購入金額の2分の1、上限3,000円、1世帯2個まで）、電動生ごみ処理機（購入金額の2分の1、上限30,000円）の購入助成を行っています。壊れてしまっても再申請可能です。

詳 ぜろごみ推進課

☎ (55) 4266



その効果や
いかに!

廃品deキエー口
実践インタビュー



今回は、7月から廃品deキエー口で生ごみ減量を実践している、イオン苫小牧チアーズクラブ会員の^{にへい}二瓶さん親子に感想などをお聞きしました。



はるき 晴嬉さん (小4) たから 宝来さん (小6) なつこ 奈津香さん

Q どのくらいの頻度で、何を入れた？

A 2～3日置きくらいに、野菜くずを中心に。

Q 生ごみは消える？

A 最初は2週間たっても消えなかったので、水の量を増やしたら消えるようになった。

Q 家のごみは減った？

A 減った！平均で10リットルの指定ごみ袋を使っていたのが、5リットルの袋のときもあった。

Q 身の回りの変化はあった？

A 食べ残しが意外と多いなと実感。料理を作る量、買い物の量も考えないといけないと思った。

Q 廃品deキエー口を使っている感想は？

A もっと大きいサイズのものが欲しい！野菜の皮を入れていたけど、今後他の残飯とかにも挑戦しようかな。



▲実際にトウモロコシの芯を埋めるところを見せてくれました

生ごみを減らすことで、経済的に効果がありそうです。

今回ご紹介した以外にも、計画的な買い物や食品の効果的な保存を心掛けるなど、ごみをできるだけ出さない取り組みはまだたくさんあります。ごみの減量は、無駄を減らすだけではなく、その先の「快適で住みよいまち」の未来につながっています。これからも「053のまち苫小牧」を推進していきますので、皆様のご協力をお願いいたします！